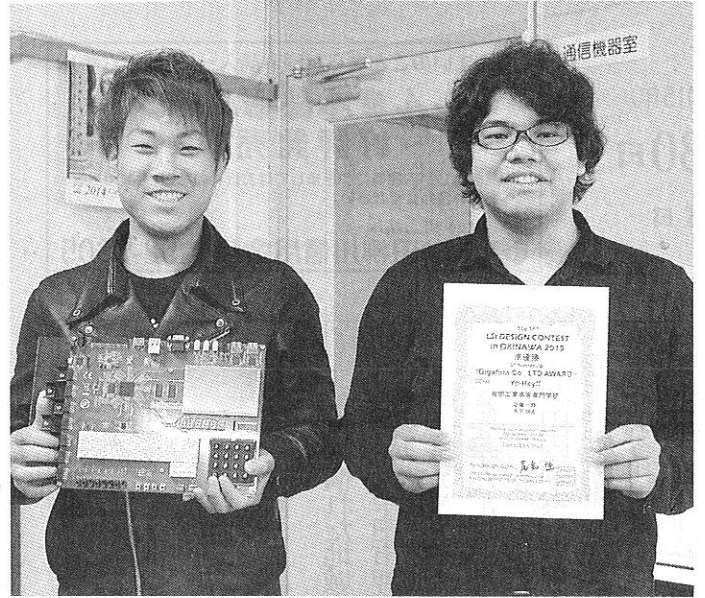


平成27年 (2015年) 3月30日 (月曜日) (2)



コンテストで準優勝した近藤さんと木下さん (右から)

3年連続入賞で初の準V

LSIデザインコンテスト

「うれしかった」と近藤さん、木下さん

有明高専

大牟田市東萩尾町、有明工業高等専門学校(福島健

郎校長) 専攻科一年の近藤

一輝さん(21)と電子情報

工学科五年の木下椋太さん

(20)は「第十八回LSI

(高密度集積回路) デザイ

ンコンテストin沖縄201

5」で準優勝した。コンテストはデジタルの集積回路設計者にとって国内最難関ともいわれているコンテストで、九州工業大学と琉球大学の教員で構成する実行委員会が主催。

同高専からは三年連続の

入賞だが、過去はいずれも

敢闘賞で、準優勝を飾った

のは今回が初めて。本年度

は国内外から八十人が応

募。インドネシアとベトナム

の大学を含む十二チーム

が十三日、琉球大学で行わ

れた最終選考に進んだ。

近藤さんと木下さんは石

川洋平准教授の研究室に所

属。コンテストのテーマは

「演算ユニット(三角関

数)のハードウェア設計」

で、締め切りぎりぎりまで

改良を続けた。

初参加の木下さんは「ま

ったく新しい分野だったの

で、一から学ぶのは大変で

した」と振り返る。近藤さ

さんは二年連続の参加で、昨

年に続き、英語でのプレゼ

ンテーションに挑戦した。「

堂々としたプレゼンで安

心して見られました」と石川准教授。

準優勝という結果に、「本

当にびっくりしましたが、

うれしかった」と一人。木

下さんは春から東芝に就

職し、気象レーダーや航空

レーダーの設置・管理業務

に当たる予定で、「この経験

を生かして頑張りたい」と

話す。専攻科二年に進む近

藤さんは来年も出場可能

で、「次は優勝を目指した

い」と意欲を新たにしてい

た。

(河野 美緒)